



埼玉県立浦和西高等学校
Urawanishi High School

発行日 令和3年1月26日
学校通信 ～西高は今～
発行責任者 校長 杉林 正敏
HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

「回帰」と「進化」・「不易」と「流行」

校長 杉林 正敏

本県に再度の緊急事態宣言が発令されている中、始業時間の1時間繰り下げと短縮授業を行う日々が続いています。このような状況下、原点に「回帰」して西高の在り方と使命について改めて思いを巡らしてみると、「自主自立」を追求し、「3つの力（Ⅰ 確かで高度な学力、Ⅱ 信頼される人間力、Ⅲ たくましく健やかな心身）」の育成を通して「西高力（自ら考え、課題を発見し、その課題を解決する力）」を身に付けさせるということになります。これは、先行き不透明な時代状況の中にあっても変わらない西高の「不易」の部分です。

昨年10月、中央教育審議会（中教審）は『令和の日本型学校教育の構築を目指して（中間まとめ）』を発表しました。その中に、コロナ禍で再認識された学校の役割として、「①学習機会と学力、②全人的な発達・成長、③身体的・精神的な健康」を保障することが挙げられています。この役割に出てくる3点は、まさに西高の「3つの力」と重なります。

そして、中教審は「令和の日本型学校教育の構築に向けた今後の方向性」として、前述の3点の保障を学校教育の本質的な役割として重視し継承していく一方で、人的・物的資源を十分に供給・支援することが国に求められる役割であるとしています。さらに、「二項対立（「一斉授業か個別学習か」「履修主義か修得主義か」「デジタルかアナログか」「遠隔・オンラインか対面・オフラインか）」に陥らずに、教育の質の向上のために学習場面等により、どちらの良さも適切に組み合わせて活かしていくことの大切さを指摘しています。

西高でもコロナ禍の中、先生たちは教育プラットフォームのClassi、Google Classroom、Google Meetなどを使って生徒に連絡することはもとより、教材、課題、動画、小テスト、アンケートなどを配信しつつ、面談も含めて

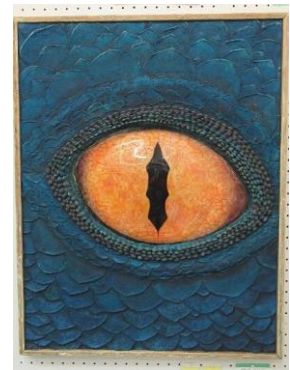
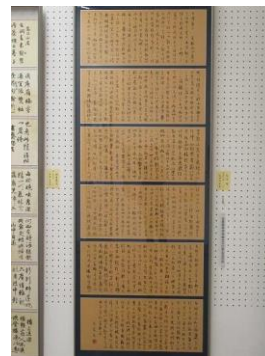
生徒とコミュニケーションを取ることに積極的に取り組んでいます。また、集会などもほぼリモートで実施しながら、各教室と発信者はつながって(Connected)います。

このような取組は、コロナ禍の状況下でなくても、時代の変化に応じて必然的に起こった「進化」と言えると思います。言わば、「不易」に対する「流行」に応じた取組とすることができます。

浦和西高校は、いかなる時代状況下にあっても、原点に「回帰」して「不易」を忘れず、一方で、未来に向けて「進化」して「流行」していくという姿勢を維持する学校でありたいと常に思っています。

1 「全国高等学校総合文化祭」出品決定！

書道部と美術部の生徒の作品が来年8月に開催される「第45回 全国高等学校総合文化祭（和歌山大会）」に出品されることが決まりました。



書道部は2年9組・塩野谷笑菜さんの作品「臨 書譜」が、美術部は2年6組・中原穂乃花さんの絵画作品「世界の芽」がそれぞれ埼玉県の代表に選ばれました。

2 高英研主催「英作文コンテスト」入賞！



「第55回英作文コンテスト」（埼玉県高等学校英語教育研究会主催）に1年2組・永野春花さんが入賞し、「奨励賞」を受賞しました。入賞者は、1年生の部では県内で9人でした。

3 2学年「集中学習会」(3日間)実施

12月17日(木)・18日(金)・21日(月)の3日間、2学年「集中学習会」を各教室で実施しました。この学習会は、大学受験にシフトチェンジするために、毎年2学年で実施している行事です。



今回のスローガンは「自分を高めよ!」でした。生徒たちは8時20分開始の「朝学習」に始まり16時30分まで、休憩を除いて正味「410分」全員が教室で勉強しました。放課後は希望者のために19時まで教室を開放し、さらなる学習時間を確保しました。

放課後は希望者のために19時まで教室を開放し、さらなる学習時間を確保しました。

4 「人権教育講演会」実施



12月22日(火)2・3時限目に「人権教育講演会」を行いました。講師には、国立ハンセン病資料館の社会啓発課課長・大高俊一郎先生(社会学博士)をお招きして、『ハンセン病問題から学ぶこと』というテーマでお話しいただきました。

『ハンセン病問題から学ぶこと』というテーマでお話しいただきました。

5 管弦楽部「クリスマスコンサート」開演



12月24日(木)午後、管弦楽部が第1音楽室で「クリスマスコンサート」を開きました。

今年度は5月の「定期演奏会」が中止となり、文化祭も校内だけで規模を縮小しリモートで行いましたので、管弦楽部の生演奏を聴く機会がありませんでした。部員の皆さんも発表の機会がなくて、残念に思っていたことと思います。そのような中、今回「クリスマスコンサート」が開演できて、本当に良かったと思います。

6 「エンパワーメントプログラム 2020」実施

12月25日(金)から27日(日)の3日間、本校記念館2階を会場として「エンパワーメントプログラム2020」を実施しました。このプログラムは、株式会社ISAさんの協力を得て、海外からの留学生を招き、留学生たちとのディスカッションを通して、これからの時代に何が必要かを考え抜くというものです。



今回は本校生徒の他、浦和第一女子高校・大宮高校・大宮北高校、早稲田大学本庄高等学院の生徒たちが28名参加しました。生徒たちは、海外から日本の大学・大学院(筑波大学・上智大学・埼玉大学)に留学している留学生5名と1名の英国人ファシリテーターとともに「自分自身」と「夢」に向き合う3日間を過ごしました。

7 共通テスト「1週間前」「直前」集会の実施



1月8日(金)6時限目に「1週間前」集会を行いました。進路指導主任からの注意に3年生は皆、緊張した面持ちで聞き入っていました。

最後に、その緊張を和らげるように、各担任から全員にチョコレートのプレゼントがありました。担任の先生たちの心遣いに生徒たちも嬉しそうでした。



1月15日(金)4時限目には「直前」集会を行いました。各担任そして副担任からそれぞれの思いを込めたメッセージが伝えられました。

進路指導主任からは「兎に角、自分を信じなさい。今日まで頑張ってきた君たちの姿を毎日のように見ているので、信じています」という激励の言葉がありました。